

神社
仙閣



さかきやまじんじや おおみやはちまんぐう

1. 榊山神社（大宮八幡宮）

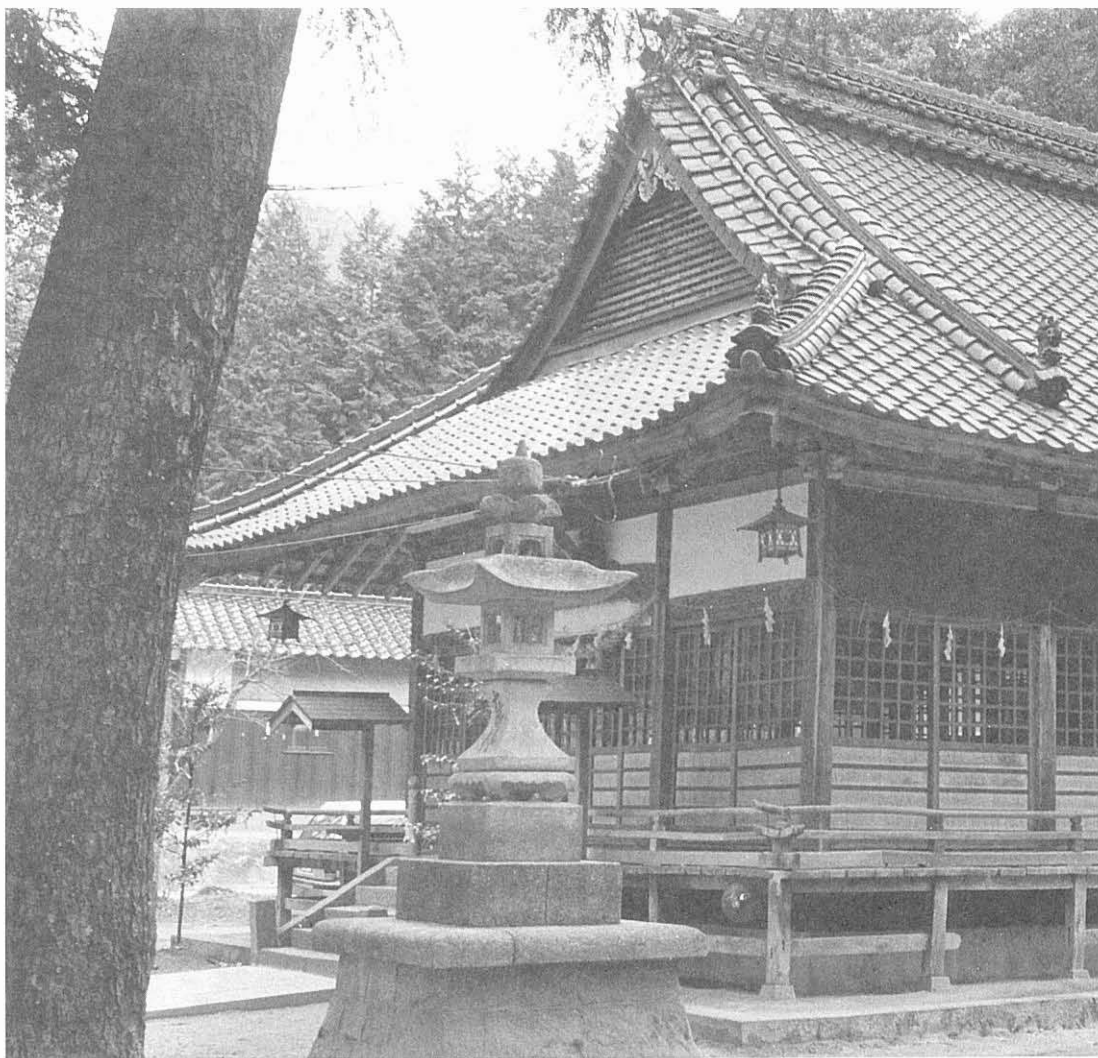
- 所在地 熊野町中溝区字八幡山
- 祭神 帶中津日子神・品陀和氣神・息長帯比売神

榊山神社は今から約1060年前の承平3年（933年）に福岡の宇佐八幡宮から勧請された古社です。正徳5年（1715年）火災にあって宝物や古文書を失い、正確な縁起を知ることができなくなりました。

現在の神殿は享保9年（1724年）に再建されたもので、その後、拝殿が慶応4年（1868年）に着工され、明治3年（1870年）に完成しました。神殿は町の重要文化財に指定されており、安芸国の本格的な近世寺社建築の初期例として貴重な文化財です。境内には筆まつり唄に歌われている99段の石段や大杉の古木が立ち、歴史の深さを感じさせます。



信仰が織りなす
歴史絵巻





さかきもりじんじや しんぐうだいみょうじん
2. 榊 森神社 (新宮大明神)

- 所在地 熊野町新宮区字宮ノ首
- 祭神 速玉男神・菊理姫神・事解男神

古くから新宮明神と呼ばれた宮で、土岐城の城主が、字宮林に建立したものと伝えられています。しかし境内が狭く不便だったため、元龟元年（1570年）私有林と神田とを交換して、現在の地に転遷しました。古い時代の拝殿が残されていることが特徴です。また、祭神の由来は不詳ですが、紀州熊野より勧請されたも

のと考えられています。神社の祭礼には「どじょう祭り」とも呼ばれる湯立の神事が伝えられています。大釜の熱湯を「どじょう」の入った勺に注ぎ神に奉獻し、宮司が勺の湯滴を参拝者に振りかけるものです。湯滴を受けた人は、年中無病息災に過ごせるといわれています。



3. 西光寺

さいこう じ

- 所在地 熊野町中溝区字宮ノ前
- 本尊 阿弥陀如来

芸藩通誌に「慶長6年辛丑(1601年)僧祐浄開基」とあり、別な資料により、「玉泉山西光寺」という号であったことがわかります。しかし、天明年間(1781~89年)と昭和11年(1936年)の2回の火災にあい、貴重な古文書の多くを焼失しました。昭和11年の火災の時は、再建のための浄財を募ったところ、檀家信徒が競っ

て喜捨に応じ、たちまちに費用が集まったとあります。境内の彫名には昭和15年の入経式、入仏式、落成慶讃大法要の「人雲ノ如ク法幢南風ニ翻リ楽声遠ク十方ヲ感動ス」という落成を祝う情景が残されています。



こうきようぼう 4. 光教坊

- 所在地 熊野町中溝区字宮ノ前
- 本尊 阿弥陀如来

鎌倉幕府の頃、真言宗の一寺「石嶽山石水寺」として、開基されたのが始まりといわれます。当時は観音菩薩も祭られ、石水寺は安芸の国、32番の観音札所として有名でした。

その後現在の位置に移り、嵩山城城主、菅田豊後守の菩提寺として栄えましたが、天文年間の兵乱で焼失したと伝えられま

す。(光教坊縁起による)

永禄年中(1558年頃)浄土真宗に改宗し、坊号を得て石嶽山光教坊となったといわれます。現在の本堂は文政10年(1827年)に再建されたもので、境内には町指定天然記念物の大イチョウとモッコクがあります。



くまのほんぐうしや 5. 熊野本宮社

- 所在地 熊野町中溝区字八幡山
- 祭神 伊邪那岐大神・伊邪那美大神

熊野村の村名の由来となったともいわれる神社で、社伝によれば養和元年（1181）ごろ、紀州の熊野本宮社より勧請したと伝えられています。寛政12年（1800）、

火繩をくわえた鶴が社殿に飛び込んだため同社は焼失し、神体も中絶したと伝えられ、のち再び紀州より勧請が行われたとの事です。



かんのん 6. ゆるぎ観音

- 所在地 熊野町中溝区字観音平
- 祭神 観世音菩薩

山の上に建つ観音堂ですが、付近にゆるぎ岩のあることからゆるぎ観音と呼ばれています。境内にはこんこんと清水が湧いています。ゆるぎ岩、磨崖仏を含むこの一体は町の重要文化財にも指定され、今も多くの信者の信仰を集めています。

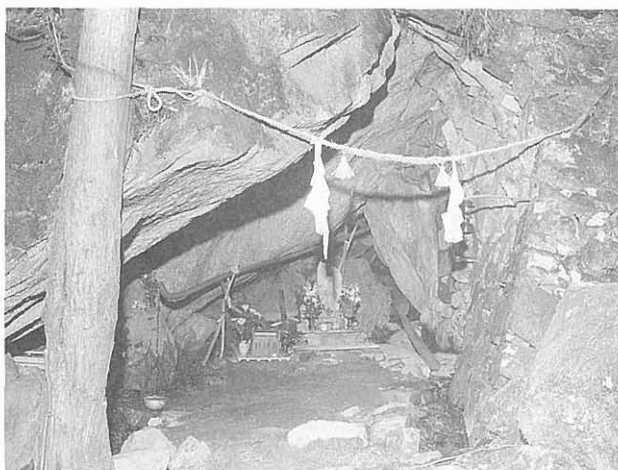
7. そら不動^{ふどう}（奥不動^{おくふどう}）

- 所在地 熊野町城之堀区字飛子
- 本尊 不動明王

不動さん（城之堀区字不動原）から約500mばかり城山を登ったところに、そら不動があります。4、50トンはあるかと思われる巨石の下の空洞に、ご神体が祭られているもので、熊野の名水に選ばれた清水が流れています。「そら不動」の「そら」とは、ずっと上にある、という意味だと考えられています。

周囲は静寂の空気に包まれ、清らかな流れが洗う法境の地です。

この不動さんは、お乳の仏様として有名で、その霊験は近郷一円にきこえ、広く信仰されていたといえます。



8. 毘沙門堂^{びしゃもんどう}

- 所在地 熊野町新宮区宇宮林
- 本尊 毘沙門天

昔は、新宮区全域の宮として、盛大に祭りが行われていたと伝えられます。

明治維新の時、仏法として神道から分かれ現在にいたっています。境内に造られた池には湧水がたたえられ、その中の島には数基の五輪塔が置かれています。周囲のうっそうと茂った杉林に、苔むした五輪塔が調和して、幽玄な仏域の雰囲気を出しています。

櫛森神社も、古くはこの宮の境内にあったと伝えられています。



9. 貴船神社

- 所在地 熊野町川角区字貴船
- 祭神 譽田天皇、大鷦鷯命、高麗神

鎮座の時代は未詳ですが、昔は、旧宮という竹藪（現在、字「神出」付近と思われる）にあり、相当栄えていたと思わ

れます。寛文元年（1661年）秋の大洪水により、神霊・神殿ともに押込境まで流

されました。その後、水害を避けるため、寛文3年（1663年）、庄屋の須山伝兵衛が氏子と相談して、現在の貴船山に転遷したものです。



10. 若宮神社



- 所在地 熊野町初神区字隠田
- 祭神 少名彦名神

初神区の宮として古くから祭られ、鎮座は享保6年（1721年）と伝えられています。神社の右側に祭ってあるのは、農耕の神様である牛神社です。

12. 豊橋稲荷



- 所在地 熊野町城之堀区字稲荷
- 祭神 保食神

1 立は享保年間ではないかと思われます。「稲荷」は総じて1 かに関係する神とされ、多く祭られています。この地域のうちは「稲荷」で、この稲荷神社に由来するものかと考えられます。

11. 薬師堂



- 所在地 熊野町初神区字薬師
- 祭神 薬師如来

永正11年（1514年）、時の城主樫次郎左衛門が守護本尊として建立しました。当時の本尊の琉璃光佛薬師如来像は、行基作と伝えられていましたが盗難により紛失、現在は寛政年中に造られた尊像が安置されています。

13. 土岐神社



- 所在地 熊野町萩原区
- 祭神 罔象女命

創立は享保5年（1720年）と伝えられ、土岐城の山頂にあります。詳しい由来はまだ分かっていません。

りゅうおうじんじや
14. 龍王神社(御旅所)



●所在地 熊野町萩原
区字里地 ●祭神 鵜都
波能売神

龍王神社奥之院が山中にあり境内が狭くて不便なことから、参詣の便利をはかるため麓に建てられたのが御旅所です。春と秋の彼岸には、ここへ神霊を「彼岸船」と呼ばれるおみこしでお迎えしていたといわれます。

あみだどう ばいしどう
16. 阿弥陀堂(梅枝堂)



●所在地 熊野町呉地
区字堂ヶ迫 ●本尊 阿
弥陀如来

昔は浄土宗の寺であったと伝えられ、創立は室町時代にさかのぼるものと考えられます。後、真宗に改宗され、明治の初め頃までは呉地、苗代、枋原などに相当の檀家もあり、栄えていたと伝えられています。

別名を梅枝堂といわれる由來は、最後の住職、梅枝蓮浄にもとづくものと伝えられています。

じゅうおうじんじや おぐらじんじや
18. 十王神社(小倉神社)



●所在地 熊野町城之
堀区字豊崎 ●祭神 岡
象女命

享保5年(1720年)の創立と伝えられます。十王さん、城さんともいい、水神である岡象女命を祭っています。詳しい縁起は不明となっています。

こうていじんじや
20. 皇帝神社



●所在地 熊野町呉地
区字皇帝神 ●祭神 皇
帝神

神社の創立は不明ですが、この地区の字を皇帝と呼ぶことから、相当古くから神社が祭られていたと思われます。皇帝神は鬼子母神で、現在では、お産や授乳の神様として広く信仰を集めています。

りゅうおうじんじやおくの いん
15. 龍王神社奥之院



●所在地 熊野町萩原
区字備前 ●祭神 鵜都
波能売神

元和元年(1615年)頃の創立。夜泣き石の伝説のまつわる神社です。そのころ、山麓の川にある3mくらいの長い石が御神体であるという神示があり、それに従って建てられたものと伝えられています。

ふどうどう
17. 不動堂



●所在地 熊野町城之
堀区字不動原 ●祭神
不動明王

そら不動が「おく不動」と呼ばれるのに対して、「出不動」とも呼ばれています。堂宇は文化3年(1806年)に再建されたもので、古い建築材が残っていることと、熊野には珍しい辻堂形式で建てられていることなど、貴重な建築物です。

す おじんじや
19. 諏訪神社



●所在地 熊野町中溝
区字八幡山 ●祭神 建
御名方神

長禄元年(1457年)3月、信州の諏訪大明神より勧請されたと伝えられます。昭和初年ごろまでは独立した神社となっていました。同37年に神山神社の境内に編入、昭和41年熊野中学校グランド拡張工事のため、現在の地に転遷しました。

えびす じんじや
21. 胡子神社



●所在地 熊野町萩原
区字堀垣内 ●祭神 事
代主神

享保6年(1721年)の創立と伝えられます。胡子神は生業の守護神で、古くから人々の信仰を集めてきました。全国に胡子神社は数多くありますが、「胡子」の字をあてる神社があるのは広島県だけといわれています。

22. 稲荷神社



●所在地 熊野町中満
区宇尾首 ●祭神 宇迦
御魂命

神社の創立は不明で、現在の社殿は昭和7年7月27日の再建によるものです。稲荷神社は各地に見られますが、家の神として、それぞれの田畑をもって祭られてきたものであろうといわれます。

24. 大蔵神社 (大年神社)



●所在地 熊野町出来
区宇大年原 ●祭神 大年
神・大國主命

享保6年(1721年)に創立され、現在の拝殿は文久3年(1867年)に建立されたと伝えられます。『とし』とは穀物のことで、大蔵神社は穀物の守護神として知られています。境内にあるモッコクは、町の天然記念物に指定されています。

26. 石嶽山観音堂



●所在地 熊野町萩原
区宇岳 ●祭神 大権現
(三鬼、弥山、金比羅)

石嶽山は、山全体を霊山として鎌倉時代に開山し、本尊の他に大日如来や弘法大師など約50余体の神仏があるといわれます。参道は険しく、霊山としての雰囲気を感じさせています。石水寺(現在の光教坊)も古くはこの地にあったといえます。

28. 姫白観音



●所在地 熊野町呉地
区宇浪岩 ●祭神 天地
元祖皇太神

もとは浪石の上に祠があったものを、昭和25年ごろ社殿が建てられたものです。天地元祖皇太神は女神で、蛇神であるともいわれます。この神社には白蛇の伝説などが伝わっていますが、縁起はよくわかっていません。

23. 牛神社



●所在地 熊野町中満
区宇牛神山

牛神社は、農家の宝である牛を祭った神社で、町内に数社祭られています。もともと牛は、農耕のため欠かせないので、できない大切な家畜で、全国的に祭られているものです。また、天神様の使いと信じられ、神格化されたとも考えられます。

25. 佐太夫神社



●所在地 熊野町出来
区宇大年原 ●祭神 佐
太夫

熊野に伝えられる佐太夫の伝説にもとづき、昭和15年12月に佐太夫を祭って建立された神社です。当時は出来区宇畑ヶ迫にありましたが、道路工事のため現在の大蔵神社の前に転遷しました。

27. 岸田八幡宮



●所在地 熊野町呉地
区宇地蔵ガ迫 ●祭神
帶巾津日子命・品陀和
気命・息長帯比売命

応永3年(1396年)紀伊の国から勧請されたと伝えられます。享徳の頃の大旱魃の際、雨乞いを行ったところ慈雨に恵まれ、尊崇が高まったといえます。一説には、天授年間(1375年頃)に熊野速玉神社の神霊を勧請したとも伝えられます。

29. 釈迦堂



●所在地 熊野町川角
区宇姫垣内 ●祭神 釈
迦如来

享保5年(1720年)に建立され、本尊の釈迦如来像は行基作と伝えられています。安永4年(1775年)、堂の修理を行ったとき出土した経石を、再び埋め戻して堂の横にある石碑を建立したといわれています。

30. 明神社（厳島神社）



●所在地 熊野町平谷
区字大下 ●祭神 市杵
姫命

平谷の庄屋、休氏の建立と伝えられますが、休氏が滅んだ後、神社を遺して管理した菅田氏が絶えたので、現在の位置に遷したといわれます。熊野に市杵姫命を祭った厳島神社が多いのは、宮島の厳島神社の荘園であったことによります。

31. 的場神社



●所在地 熊野町平谷
区字的場山 ●祭神 菅
田天皇・大山祇神

平谷村を拓いた梶山新左衛門が、庄屋として平谷八幡宮を造営し、押込村八幡宮より神堂を勧請したと伝えられます。その後、社域が狭いので元禄15年(1702年)、神慮によって現在の位置に遷座したと伝えられます。

神社・仏閣位置図

1. 櫛山神社（大宮八幡宮）
2. 櫛森神社（新宮大明神）
3. 西光寺
4. 光教坊
5. 熊野本宮社
6. ゆるぎ観音
7. 空不動
8. 毘沙門さん
9. 貴船神社
10. 若宮神社
11. 薬師堂
12. 豊橋稲荷

18. 十王神社（小倉神社）
19. 諏訪神社
20. 皇帝神社



21. 胡子神社
22. 稲荷神社
23. 牛神社
24. 大歳神社（大年神社）
25. 佐太夫神社
26. 石嶽山観音堂
27. 岸田八幡宮
28. 姫白観音
29. 釈迦堂
30. 明神社（厳島神社）
31. 的場神社